

## 特別養護老人ホーム 湯梨浜はごろも苑

### 1 基本方針

入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立って良質の介護福祉サービスを提案し、個別ケアを実践する。

良質の介護・福祉サービスを提供することにより、入居者がその有する能力に応じ、安心で安全な自律した日常生活を営むことができるよう努める。

地域住民との交流を深め、地域に必要とされ、愛され信頼される施設づくりに努める。

### 2 利用者の状況（令和4年3月31日現在）

#### （1）入退所の状況

定員	前年度末 利用者数	令和3年度中の入退所状況					利 用 延人員	年間平均 稼働率	年 度 末 利用者数
		入所	退所	退所理由別					
				施設 移管	契約解除 (入院等)	死亡			
120人	116人	49人	51人	2人	25人	24人	41,028人	93.67%	114人
2年度 湯梨浜	120人	118人	4人	0人	1人	3人	2,102人	97.31%	116人
2年度 巖城	120人	125人	34人	41人	2人	22人	43,879人	84.36%	118人

#### （2）利用者の介護度別人員

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男 性	0人	0人	7人	11人	5人	23人
女 性	0人	2人	27人	34人	28人	91人
計	0人	2人	34人	45人	33人	114人

（平均介護度4.0）

### 3 事業の実施状況

#### （1）ユニット型施設として安定した運営

ア 幹部会議を適宜開催するとともに、運営委員会とユニットリーダー会議を毎月開催し情報共有と課題の洗い出し、改善を図りながら経営の安定に努めた。

イ 上浅津地区及びはわい温泉地区と緊急時等相互協力協定を締結し地元住民との協力体制を確立した。

ウ 給食については、朝食と夕食は外部加工品を利用したニュークックチル方式、昼食は従来のクックサーバ方式で提供することにより安定した調理体制を確立した。

#### （2）生活を支えるユニットケアの実践

ア 入居者に合わせた起床時間、食事時間、排泄、居室やリビングでの過ごし方など個別ケアに取り組んだ。

イ リフトや移乗用ボードを使用することで安全に離床できるよう取り組んだ。また、入居者の身体状況に合わせた車椅子を提供することで座位保持が難しい方でも安全に離床できるよう支援した。

### (3) 人権の尊重

ア 身体拘束及び虐待防止研修を実施し、人権意識を高めるとともに入居者の尊厳を守る支援を行った。

イ 虐待の芽アンケートを3か月ごとに実施し、アンケートの結果を日頃の介護の振り返りの機会とした。また、課題や問題点の情報共有に努め虐待の早期発見と未然防止に努めた。

### (4) 介護事故予防の推進

ア ICT(情報通信技術)を利用した見守りセンサー「眠りスキャン」の導入により入居者のベッド上での身体状況の把握が離れていても可能となったが、福祉機器を過信せず目視による状況確認を行うことで更に介護事故の減少に努めた。また、事故等の対策を講じても繰り返されるヒヤリハット事例については検証、再検証を実施し全職員で情報共有し注意喚起を行った。

イ 毎月、緊急時対応訓練を実施し緊急時に落ち着いて行動できるよう訓練を重ねた。

### (5) 社会貢献の推進

ア 新型コロナウイルス感染防止のためボランティアの受け入れや交流スペースの地元住民の利用は出来なかった。しかし、地元住民には様々な機会を通じて、社会貢献に積極的に取り組むことを伝えた。

イ はごろもホールを会場に実施した地元自治会の防災研修に当苑の職員も参加するとともに災害時の備蓄品の説明と試食を兼ねた提供を行った。

### (6) 経営改善・基盤の確立

ア 退所者が多いにも関わらず待機者が少ないため常時、満床にすることが難しい状況となった。特に、9月からは入院者や退所者の増加により稼働率の低下が見られ年間稼働率は93.7%と目標稼働率を達成できなかった。

イ 新たな職員体制となったため、介護パート等の業務の標準化を図るなど業務の効率化に努めた。

### (7) 働きやすい職場環境作りと安全衛生の充実

ア リフトなどの福祉用具を活用することにより、持ち上げない介護を実施することで腰痛予防と介護負担の軽減に繋げている。

イ 産業医による面談や休業者の職場復帰支援などの個人的アプローチを行い、メンタルヘルスケアの推進を図った。

### (8) 新型コロナウイルス感染防止の取組み

ア マニュアルに基づいたシミュレーションを実施するとともに感染症認定看護師による現地指導を受け感染防止体制の確立に努めた。

イ オンライン面会、窓越し面会等により感染防止に努めるとともに、ターミナルケア(看取り)の家族には厳重な感染対策うえで対面面会を実施した。

#### 4 実習、ボランティアの受入状況

##### (1) 実習の受入実績

実習受入先	受入期間	実人員	延人員
鳥取社会福祉専門学校	R3.7~R3.9	2人	31人
公立大学法人新見公立大学	R3.7	2人	2人
鳥取県立倉吉総合看護専門学校	R3.10	10人	30人
計		14人	63人

##### (2) ボランティアの受入実績

桔梗の会 延べ16名